

授業科目 栄養学Ⅳ

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	栄養
塚原典子		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】 これまでに習得した栄養学の基礎知識をふまえ、スポーツ栄養の実際について目的別・競技特性別などの具体的栄養管理の考え方を学ぶ。また、福祉と栄養との関わり等について理解する。さらに、栄養と遺伝子の関係を、分子栄養学の視点から生活習慣病等の疾病との関わりについて学ぶ。					
【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】 ・栄養学の基礎知識を実際の栄養管理に応用し、展開していくための考え方を、スポーツ栄養の実際等を通して理解する。 ・分子栄養学について、さらには、分子栄養学からみた疾病（主に生活習慣病）の予防等について理解する。					
回数	授業計画又は学習の主題			SBO	番号
				学習方法・学習課題又は備考・担当教員	
1	競技スポーツと栄養	身体づくりと栄養、コンディショニングと栄養		講義	
2	競技スポーツと栄養	スポーツ栄養の実際、サプリメントとパフォーマンス		講義	
3	競技スポーツと栄養	目的別の栄養管理		講義	
4	競技スポーツと栄養	競技特性別の栄養管理		講義	
5	競技スポーツと栄養	アスリートの栄養上の問題点、課題		講義、ワークショップ	
6	競技スポーツと栄養	栄養サポートの実際等について		講義、ワークショップ	
7	分子栄養学について	分子栄養学とは、分子栄養学の基礎について		講義	
8	栄養素と分子栄養学	糖質、脂質と分子栄養学		講義	
9	栄養素と分子栄養学	アミノ酸、ビタミン、ミネラルと分子栄養学		講義	
10	分子栄養学からみた生活習慣病について	分子栄養学からみた疾患の予防、肥満の予防		講義	
11	分子栄養学からみた生活習慣病について	分子栄養学からみた高脂血症の予防		講義	
12	分子栄養学からみた生活習慣病について	分子栄養学からみた糖尿病、高血圧の予防		講義	
13	分子栄養学からみた生活習慣病について	骨粗鬆症と分子栄養学		講義	
14	福祉と栄養	保健、医療、福祉の連携と栄養士の役割について		講義、ワークショップ	
【使用図書】		＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)		環境・スポーツ栄養学	金子佳代子・万木良平	建帛社	
参考書		分子栄養学	榊原隆三編	建帛社	2300円
		アスリートのための栄養・食事ガイド	小林修平編著	第一出版	最新版 2400円
その他の資料		日本人の食事摂取基準（2005年版）		第一出版	2005年発行
【評価方法】		【履修上の留意点】			
出席状況等の平常点、定期試験等から総合的に評価する					